

10/8 Hirado City Photo News
田平に製氷工場を建設



神奈川県横浜市に本社を置く冷凍倉庫業の横浜冷凍(株)の平戸製氷工場(仮称)の起工式が、田平町の田平港そばの予定地で行われました。

平成30年12月に平戸魚市(株)の製氷工場が廃止され、平戸魚市(株)や地元関係者が横浜冷凍(株)に工場の建設を要望。同社が製氷工場を手掛けるのは初の試みとなります。

起工式の中で同社の吉川俊雄会長は「最新の製氷機を導入し、地域の漁業の発展に微力ながら貢献したい」と挨拶しました。

10/5 Hirado City Photo News
本市の介護を担う人材に



平戸市役所市長室において、平戸市介護人材確保支援事業賞賜金交付式が行われ、9月からほうゆうショートいなほに勤める吉永蓮さんに市長から賞賜金が交付されました。

この事業は、満25歳以下で介護職として市内事業所へ就職した人を対象に賞賜金を交付することで、本市の介護を担う人材として激励を行うものです。

交付を受けた吉永さんは「地元の平戸で働くことができてありがたい。自分の仕事に責任を持ち、入所者の皆さんのために頑張りたい」と話しました。

10/9 Hirado City Photo News
東京・築地の一流シェフが平戸の海の幸を使って実演



東京・築地のレストラン「築地ボン・マルシェ」の料理長である薄公章シェフを招き、市内の事業者・生産者との意見交換や平戸の水産物を使った調理の実演が行われました。

調理の実演では平戸で獲れたシイラやキジハタなどをメインに平戸産の野菜や油、塩などで調理し、平戸の食文化にはない新たな食べ方を提案。薄シェフは平戸の水産物について「魚のクオリティが高く、低価格で流通させるのはもったいない。旬の魚を上手にブランド化してほしい」とアドバイスしました。



10/18 Hirado City Photo News
コロナ感染をアプリでチェック



道の駅「昆虫の里たびら」において、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」登録啓発イベントが開催されました。厚生労働省が推奨する「COCOA」は、スマートフォンにインストールすることで、プライバシーに配慮しながらコロナ陽性者との接触を確認することができるアプリです。

この日は、入場口で来場者に検温、マスク着用、手指消毒などを実施。即売会やもちつき、バナナの叩き売りなどが行われ、訪れた人たちはソーシャルディスタンスを意識しながら楽しんでいました。

10/12 Hirado City Photo News
火災の被害拡大防止に貢献



平戸市消防署生月出張所において、平戸市消防長感謝状贈呈式が行われ、吉村尚義さん、吉村輝美さん、豊永富久さん、田崎勝さん、金子大貴さんの5人に感謝状が贈られました。

9月14日、生月町里免で林野火災が発生した際、5人が協力してバケツリレーなどで初期消火活動を行いました。

贈呈式には、吉村さん夫妻と田崎さんが出席。消防長は「皆さんの迅速な行動で被害を最小限にでき感謝します」と話し、感謝状を手渡しました。

10/4 Hirado City Photo News
地域住民が芝桜を植え付け



戸石川町のシーライフひらど近くの道路の花壇に、地域住民が芝桜の苗を植えました。この道路はシーライフひらどの利用者はもちろん、地域住民の重要な生活道路の一部であり、以前から住民の手で管理されていました。

この日は、早朝から地域住民約40人が集まり、芝桜の苗500本を手分けしながら丁寧に花壇に植えていました。今回植えた芝桜は、来年4月ごろに見ごろを迎え、ピンクや白など色とりどりの花を咲かせる予定です。

9/29 Hirado City Photo News
中南部地区の新たな足として



平戸市民病院において、紐差地区と南部方面を結ぶ市営コミュニティバスの運行開始式が行われました。

10月1日から中南部地区のバス路線や時刻表の見直しにより、これまで民間で運行していた路線のうち利用者数が全般的に少ない路線を再編し、市が直営で運行します。また、一部区間では市営コミュニティバスのデマンド運行(予約制)やまちづくり協議会が運営するデマンドタクシー、スクールバスなども利用できるようになります。